

マロニエ文化学びのひろば

しもつけ風土記の丘・歴史セミナー

～とちぎ県民カレッジ連携講座～

“うつわ”から 古墳時代を探る

古墳時代（3～7世紀）の土器には、土師器と須恵器があります。土師器は、縄文時代から続く伝統的な焼き方による褐色のうつわ。須恵器は、5世紀になって朝鮮半島から渡ってきた人々の技術によって誕生した硬くて青色をしたうつわです。2つのうつわをとおして、古墳時代のムラの暮らしや古墳の儀礼などについて考えます。

プログラム

第1回 11月13日㊤ 「土師器の変化を考える」

第1会議室

とちぎ生涯学習文化財団
しもつけ風土記の丘資料館 主査 木村 美保

第2回 2月12日㊤ 体験教室/勾玉づくり・石斧づくり

第1会議室

とちぎ生涯学習文化財団
しもつけ風土記の丘資料館 館長 柿田 由紀雄
主査 木村 美保

第3回 2月26日㊤ 「須恵器の登場と広がり」

特別会議室

とちぎ生涯学習文化財団
しもつけ風土記の丘資料館 副館長 藤田 典夫

会場 栃木県総合文化センター

開催時間 10:00～12:00

受講回数 セミナーは全3回開催いたしますが、1回のみ
の受講でも受け付けます。

募集定員 各回100名程度 受講料 無料

第2回体験教室受講の方へ エプロンや作業しやすい衣類の準備を
お願いいたします。

体験教室で行うのは、ご好評をいただいている滑石を使った勾玉・石斧づくりです。

しばし古代人になった気持ちで、あなただけのオリジナルアクセサリーを作ってみませんか。

主催 (財)とちぎ生涯学習文化財団

お問合せ

(財)とちぎ生涯学習文化財団 総務企画課
☎028-643-1011 (平日9:00～17:00)

※応募方法については裏面をご覧ください。

**平成22年度生涯学習セミナー「マロニエ文化学びのひろば」
歴史セミナー「“うつわ”から古墳時代を探る」 アンケート結果より
第1～3回 受講者数 83名 回答者数 47名 回答率 56.6%**

(Q1)お住まい

宇都宮市内	27名	57.5%
宇都宮市外	18名	38.3%
県外	1名	2.1%
回答なし	1名	2.1%

(Q2)応募した動機についてお答えください。(複数回答可)

趣味・教養のため	40名	85.1%
職業に生かすため	3名	6.4%
地域活動やボランティア活動に生かすため	6名	12.8%
自ら取り組む学習対象を探すため	6名	12.8%
余暇の活用のため	11名	23.4%
その他		
回答なし	1名	2.1%

(Q3)1講座あたりの回数(回)についてお答えください。

適当だった	26名	55.3%
多かった		
少なかった	17名	36.2%
回答なし	4名	8.5%

(Q4)講座全体を通しての満足度についてお答えください。

満足できた	24名	51.1%
概ね満足できた	17名	36.2%
あまり満足できなかった		
満足できなかった		
わからない	1名	2.1%
回答なし	5名	10.6%

〈御意見〉

- 歴史基礎入門という事で参加したが、来年度も同じ講座があれば参加したい。
- 話が解りやすく、楽しく聞けた。
- テーマがしぼられていて、とても面白かった。
- 須恵器のいわれなど、解説が面白かった。
- 体験学習を通して、大変勉強になり、教養の範囲が広がった。気軽に参加できるところがとても良く、楽しい企画なので、このような企画を増やして欲しい。(体験教室)
- 事前の解説も丁寧で、ワクワクした。実際に作ってみて、益々興味が湧いた。次回も体験したい。(体験教室)
- 終了時間を厳守して欲しい(送迎、駐車時間、午後の予定等があるため)。
- 開催の時期を11～12月頃にずらして欲しい。
- 来年度「生涯学習セミナー」で実施してほしいテーマ
 - ・下野古墳群・副製品について・神道と仏教・石器、土器等古代の地域交流・毛野国から栃木県までの国、郡の変化(特に古代、中世)・陶器作り(コップ、お皿等)・現地見学(宇都宮出発)